

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	湖南省通所支援センター		
○保護者評価実施期間	令和7年2月17日		～ 令和7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年2月17日		～ 令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月17日		～ 令和7年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	対象となる児が児童発達支援事業を利用して いるケースが多く、保育所等訪問支援事業と児童 発達支援事業とが情報共有を行って取り組 むことができる。	児童発達支援での様子をと合わせた評価に取 り組むことができる。	支援センターとしての強みを生かして、必要な 支援を検討していく。
2	保育士や言語聴覚士などの資格を持っている 経験の長い職員がいる。	専門的な立場からのアドバイスを心掛けている。	より丁寧な分かりやすい説明に努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先との連絡や情報の共有をより深めていく 必要がある。	訪問時以外での情報共有を持つ時間が短い。	必要に応じて文書での情報共有をするなど、分 かりやすい説明に繋げていく。
2	外部評価を受けて、評価結果から業務改善に 繋がっていない。	外部評価を受ける機会が無かった。	次年度へ向けての予算化をし、評価を受ける機 会を作る。